FUKUSHIMA KYOKO

弘済会会報

第164号
2023. 6. 14
発行

全校生394名による運動会開会式。紅白代表児童の力強い宣誓が校庭中に響き渡りました。

西郷村立熊倉小学校

もくじ

支部長あいさつ…… 2
新任参事あいさつ…… 2
参事体制・事務局体制…… 3
申請型福祉事業のご案内…… 3
2023年度支部役員紹介 …… 4
教弘保険65歳満期手続き …… 4
事業報告・収支予算…… 5
教育振興事業募集案内…… 6
令和４年度日教弘教育賞…… 6
セミナー開催の案内…… 7
相続財産の評価（土地・建物）… 8

編集
発行
公益財団法人 日本教育公務員弘済会福島支部
株式会社 福島教弘
福島市上浜町10-38 教育会館内
電話 (024)522-6522 ＦＡＸ (024)522-7751 http://www.nikkyoko.or.jp

〈支部長あいさつ〉

子どもたちが楽しく、笑顔ですごせますように

公益財団法人
日本教育公務員弘済会福島支部
支部長 近 内 吉 隆

新型コロナウイルスの感染法上の分類が５月８日から季節性インフルエンザと同じ「５類」に引き下げられました。これによりマスク着用や感染者の外出自粛、医療機関への受診など、これまでとその対応が変わってきました。このような状況をふまえながらも、各学校では引き続き感染予防を行いながら、日々教育活動に取り組まれていることと思います。

さて、今年度前期の教育振興事業で助成金を交付する学校は460校を超えています。特別支援学校教育支援事業、児童生徒対象の教育文化事業、教職員研修助成事業、小規模高校の教育文化事業の４つの事業です。子どもたちが楽しく、笑顔ですごせるよう応援したいと考えています。あわせて、教職員の皆様の研修にご利用頂ければありがたいです。

特別支援学校では既に５月から贈呈式・説明会を開催しています。小中学校、小規模高校には６月から弘済会の役員等が学校に直接お伺いして交付式・説明会を開催させていただきますのでよろしくお願いいたします。

また、福祉事業では「現職等」会員の皆様に積極的にご利用いただき、心身のリフレッシュ、健康増進に役立てて頂きたいと思っています。今年４月より応募・申請資格の見直しを行いましたので、より多くの皆様の応募・申請を期待しています。

2023年度も引き続き弘済会事業へのご支援とご協力をお願いします。

新任参事のごあいさつ

参事　伏見伸一郎

３月末に南相馬市立原町第二小学校の校長を定年退職し、その後、学校や先生方を応援する仕事をしたいと考え、この職に就きました。

私自身、これまで弘済会からたくさんの支援を受けてきました。あれは震災直後の平成24年。避難生活中の家庭では宿題もままならない児童がたくさんおり、学力差の拡大が懸念されました。そんなとき、当時の校長先生が弘済会の教育実践助成を申し込み、頂いた助成金を使って、児童が自分の実力に応じた算数学習ができるよう、教材会社から教材を取り寄せ、プリントアウトできる仕組みを作ってくださいました。喜んでプリント学習に励む子どもの様子から、助成金のありがたさを感じました。

どの学校でも課題があり、その解決に向けてご苦労されていることと思います。微力ですがお力になりたいと考えています。よろしくお願いいたします。

参事　小野　信尚

３月にいわき市立磐崎小学校を最後に定年退職し、４月より弘済会福島支部参事となりました。主にいわき地区を中心に担当します。

４月５月は新採用の先生方に記念品を贈呈するために多くの学校を訪問させていただきました。学校自体の見える風景は変わりませんが、自分自身がこれまでと違った立場になったことで、学校の見え方が変化していると感じています。また、訪問した学校の校長先生からは大変丁寧な対応とたくさんの感謝の言葉をいただきました。改めて、弘済会の活動が学校の一助になっていることを感じる場面でした。

今後も、「最終受益者は子どもたち」という弘済会の理念のもと、子どもたちや学校のために、弘済会参事として、自覚と責任を持ち、その役割を全うしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2023年度 参事体制

◆(県北方部担当)
小池　重彰

◆(会津方部担当)
星　　好房

◆(高校･特別支援学校担当)
吉田　強栄

◆(県中･県南方部担当)
國分　俊樹

◆(いわき方部担当)
小野　信尚

◆(相双方部担当)
伏見伸一郎

◆(特任参事)
鈴木　康雄

2023年度 事務局体制

(公財)日教弘福島支部		(株)福島教弘	
支部長	近内吉隆	代表取締役	竹中柳一
専任幹事	柴口正武	業務課長	宍戸清一
事務局長	佐藤幸子	主任	辻川陽子
職員	森　隆茂		

申請型福祉事業のご案内

申請期間内に申請書を提出してください

事由発生時かつ助成金振込時に右記のいずれかに加入していること

2023年４月１日現在65歳以下の方で
- 新教弘保険Ａ・Ｂ型・ユース教弘保険10口以上
- 教弘保険Ｓ型・Ｋ型５口以上
- 教弘保険（１種～４種）６口以上

※2023年度「友の会」の方は該当になりません。

がん検診（前立腺がん・乳がん・子宮がん）助成（健康診断）

申請できるのは検診日の年度内（毎年３月）までです。

がん検診を受診し、自己負担があった場合に前立腺がん･乳がん･子宮がんの内、１つを受診した場合は2,000円助成、２つ（乳がん・子宮がん）を受診した場合は3,000円を助成します。

１万円の祝金

結婚祝金
会員が結婚したとき

出産祝金
会員または会員の配偶者が出産したとき

申請できるのは結婚（入籍）、または出産日から１年以内です。

宿泊利用券

一人１泊3,000円の宿泊利用券（会員一人につき家族を含め**年度内５枚まで**）

■県支部指定施設（県内13施設）　■日教弘指定宿泊施設（全国）

ご利用のしかた
1　予約してから１週間前までに申請書をFAX、又は郵送で送付してください。
2　弘済会から送られた宿泊利用券を宿泊当日にフロントに提出してください。

※オンライン等での事前支払いや旅行会社のクーポン券での支払いの場合、利用券は使用できませんのでご了承ください。

リフレッシュ助成

年度内１回限り

自然に親しんだり、家族とのふれあいを深めたり、スポーツに取り組んだり、温泉につかったり……。日常生活ではできない心身のリフレッシュを応援します。

● **申請書・詳細は…**『弘済会福島支部2023年度事業のご案内』及び弘済会福島支部ホームページをごらんください。
（弘済会　福島支部 で検索）

2023年度(公財)日本教育公務員弘済会福島支部運営委員会・幹事会を開催し 2022年度の事業報告と決算報告を承認し、新役員を選任しました。

2023年度 公益財団法人日本教育公務員弘済会福島支部役員

役職名	氏　名	所属団体・役職名等	役職名	氏　名	所属団体・役職名等
支 部 長	近内　吉隆	日教弘福島支部支部長	運営委員	石見　勝則	福島県小学校長会常任理事
副支部長	福地　裕之	福島県中学校長会会長	〃	井戸川　浩	福島県小学校長会常任理事
〃	松下　和史	福島県教職員組合書記長	〃	熊澤　正人	福島県中学校長会副会長
専任幹事	柴口　正武	日教弘福島支部専任幹事	〃	熊谷　幸司	福島県中学校長会常任理事
幹　　事	佐藤　浩昭	福島県小学校長会会長	〃	遠藤　幸栄	福島県中学校長会理事
〃	鈴木　芳人	福島県高等学校長協会会長	〃	中野　　茂	福島県高等学校長協会事務局長
〃	郷家　俊哉	福島県特別支援学校長会会長	〃	佐藤　清悦	福島県特別支援学校長会事務局長
〃	初澤　敏生	福島大学人間発達文化学類学類長	〃	平中　宏典	福島大学人間発達文化学類学類長補佐
〃	佐野　光洋	福島県小学校教育研究会会長	〃	斑目　　功	福島県小学校教育研究会事務局長
〃	高澤　正男	福島県中学校教育研究会会長	〃	鴨原　俊洋	福島県中学校教育研究会事務局長
〃	小野　義明	福島県都市教育長協議会会長	〃	渡邊　幹男	福島県高等学校教頭会会長
〃	遠藤　　哲	福島県町村教育長協議会幹事	〃	齋藤　　顕	福島県特別支援学校教頭会会長
〃	鈴木　崇史	福島県ＰＴＡ連合会会長	〃	村上　　淳	福島県公立小・中学校教頭会会長
〃	押部　逸哉	福島県教職員組合中央執行委員	〃	吉田　　豊	福島県公立小中学校事務研究会副会長
〃	日野　　彰	福島県教職員組合双葉支部書記長	〃	大木　亮子	福島県学校保健会養護教諭部会会長
〃	安斎　　真	福島県立高等学校教職員組合書記次長	〃	大橋　誠寿	福島県ＰＴＡ連合会事務局長
〃	永井　國之	福島県高等学校教職員組合執行委員長	〃	石川　謙二	福島県教職員組合中央執行委員
監　　査	松田　倫明	福島県小学校長会経理部長	〃	髙萩志津子	福島県教職員組合中央執行委員
〃	吉田　純一	福島県教職員組合書記次長	〃	斎藤　昇一	福島県立高等学校教職員組合書記
〃	酒井　和紀	福島県教職員組合福島支部長	〃	鈴木　知洋	福島県高等学校教職員組合書記長
運営委員	安齋　憲治	福島県小学校長会常任理事	〃	二階堂幹夫	弘済会福島支部退職者友の会
〃	小荒井新佐	福島県小学校長会常任理事			

教弘保険 65歳満期を迎えたら…

●「新教弘保険K型（集団契約特約付勤労保険）」にご加入下さい。

＊ふくしま教弘友の会会員の資格を継続できます。（3口以上）

＊教弘保険65歳満期時に健康状態の如何にかかわらず、ご契約の教弘保険の死亡保険金の範囲内で「新教弘保険K型」に加入頂け、80歳までの保障が得られます。

●満期のご案内･手続きはジブラルタ生命担当LC（ライフプラン･コンサルタント）がお取り扱い致します。

2022年度事業報告

〔教育振興事業〕

●奨 学 事 業

給付奨学生	199名	2,595万円
貸与奨学生	20名	1,600万円

●研究助成事業

教育研究団体	18件	408万円
個人教育実践	9件	31万円
学校教育実践	162件	1,095万円

●県立高校・特別支援学校教育物品寄贈事業	32校	448万円
●教職員研修助成事業	177校	821万円
●児童生徒対象の教育文化助成事業	224校	1,107万円
●教育文化事業	3団体	55万円
●小規模県立高校対象教育文化事業（校舎方式含む）	12校	180万円

〔福祉事業〕

●福利厚生助成事業

結婚祝	133名	1,330,000円
出産祝	142名	1,420,000円
がん検診	356名	970,000円
リフレッシュ助成	1,072名	5,224,000円
ディズニーリゾートコーポレートプログラム利用券	198件	594,000円

●宿泊助成事業

県指定	994名	2,982,000円
日教弘指定	143名	429,000円

〔共済事業〕

■死亡共済金	118名	572,397,247円
■入院給付金	1,803名	184,596,755円

2023年度収支予算

■予算編成方針

公益財団法人としての財務基準「公益目的事業費比率」「遊休財産の保有制限」「収支相償の原則」等を踏まえるとともに、本部方針に基づいて予算編成を行いました。

〇公益目的事業費比率……総事業費の70％以上を公益目的事業に充てる。

〇遊休財産の保有制限……遊休財産は１年以内に公益目的事業に支出する。

〇収支相償の原則……次期繰越金が出ないように収入と支出を同じにする。

事業活動収入	本部交付金	95,412,000	事業資金
	特定交付金	22,234,920	特定交付金
	事業収入	15,000,000	浅香荘売却益等より
	基本財産利息収入	216,000	利息
	特定資産利息収入	500	利息
	雑収入	210,400	
活動収入計		133,073,820	

事業活動支出	教育振興費	102,962,700	
	給付奨学金	24,000,000	高校生への給付奨学金
	研究助成金	8,750,000	教育団体助成他
	実践研究助成金	11,000,000	教育実践助成
	研修助成金	8,000,000	研修支援
	教育文化助成金	13,200,000	教育文化事業
	教育文化振興費	8,100,000	スクールコンサート、特別支援学校教育支援
	人件費	17,697,200	給料等
	その他諸経費	12,215,500	
	福祉事業費	20,520,900	人件費、各種福祉事業費他
	管理費	6,214,400	人件費、会議費他
	予備費他	3,375,820	予備費、退職積立金
事業活動支出計		133,073,820	

2023年度　教育実践助成事業募集

学校教育の向上発展に寄与する教育実践に対し助成金を交付します。

◆部　門

学校部門
（市町村立小中学校、県立中学校、義務教育学校、特別支援学校対象）

個人部門・グループ部門　※以下「個人・グループ部門」

◆申込受付期間

学校部門　2023年6月12日～7月7日
期間内に学校担当LCがお伺いし応募の受付をいたします。
※遠方等の場合は電話での受付をする場合もあります。

個人・グループ部門　6月12日～7月14日
受付期間内に弘済会事務局に連絡してください。

◆申請の手続きから交付まで

①申請書等送付

学校部門…4月に今年度対象校のみにすでに送付しております。送付されていない学校は応募できません。

個人・グループ部門…申請希望者に申請書等を送付します。

②申請書等及び実践資料の提出

送付された「申請書等」に必要事項を記入し、具体的な実践内容がわかる必要最小限の資料（2022年度または2023年度分）を添付し、送付してください。

※資料については、Ａ４仕様の紙ファイルあるいは綴りひもによる製本でお願いします。

●提出期間　2023年7月12日～8月21日

●提 出 先　学校部門…学校担当LC
個人・グループ部門…直接弘済会事務局

③審査・交付

９月６、７日の教育実践審査会（教育振興事業選考委員会）にて審査し、交付いたします。

教育研究団体助成

●助成の対象を教育関係団体とし、全国･東北地区･全県規模の研究会等の助成を基本とします。

●日本教育公務員弘済会福島支部を後援団体として集会要項等に明記することを原則とします。

教育文化事業

●教育・文化の振興に資する研究・活動等に対する助成です。

※原則として交付する団体・個人は「児童生徒を直接支援している」ところとします。

令和４年度 日教弘教育賞

第28回日教弘教育賞の研究論文募集を行いました。
学校部門で67編、個人部門で51編、計118編の研究論文が全国から寄せられました。いずれも実践に裏付けられた、教育への情熱に溢れる感銘深いものでした。

学校部門

〔奨励賞〕郡山市立日和田小学校

「生かせる知識・技能の育成（算数科）」
～タブレット一人一台の授業づくり～

郡山市立
日和田小学校

学校部門

〔奨励賞〕郡山市立三和小学校

「算数科における確かな学力の定着をめざして」
～「わかる・できる」が実感できる授業づくりを通して～

郡山市立
三和小学校

個人部門

〔奨励賞〕福島市立平石小学校　教頭　守谷　千晶

「新型コロナに負けない！令和の日本型音楽教育」

福島市立平石小学校

主催：日教弘 福島支部

50代からのライフプランセミナー

参加費 無料

▶楽しく有意義なリタイアメント･ライフを過ごすために、
ご退職後に生じる環境の変化や経済的な変化に関する情報を提供します。
資金運用の考え方やライフプランの立て方について、一緒に考えてみませんか?

主な内容

其の一　変化への対応

- ご退職後の対応
- 公的医療保険、公的年金の切り替え
- 年末調整と確定申告
- 収入の段差
- 介護･相続の問題は…

其の二　安心への備え

- 長生きがリスクになる?
- お金の寿命を延ばす
- インフレとお金の価値
- 資金三分法
- 金融商品の特性

講師：弊社セミナーインストラクター

セミナーを受講された方の声

- 基本的なことでしたが大切な事を教えていただきました。
- 丁寧に詳しく話していただき参考になりました。
- 事前の準備が大事なことがよく理解できました。
- 将来のことを具体的に考えるきっかけとなりました。
- 将来を楽しみ多い生活にすべく、早速計画を立てます。

当セミナーは公平中立な立場から情報を提供するもので、個別の商品のご案内やセールスは行いません。

詳しくはジブラルタ生命「学校担当 LC」もしくは「担当営業所」へお問合せ下さい

地区	開催日時		会場	ジブラルタ生命 担当営業所
県北	8月2日(水)	10:00～12:00	ウィル福島 レセプションルーム	福島第一・福島第三 TEL 024（534）7765
相双	8月1日(火)	10:00～12:00	南相馬市情報交流センター	南相馬 TEL 0244（23）4667
県中	7月28日(金)	10:00～12:00	郡山市労働福祉会館 中ホール	郡山第一・郡山第二 郡山第三・郡山第四 TEL 024（991）6341
県南	7月22日(土)	10:00～12:00	白河市立図書館 会議室	白　河 TEL 0248（23）2968
会津	7月29日(土)	10:00～12:00	会津アピオ・スペース	会　津 TEL 0242（37）7581
いわき	7月29日(土)	10:00～12:00	いわきニュータウンセンタービル 1Ｆ会議室	いわき第二・いわき第四 TEL 0246（28）8861

ST-2022-064

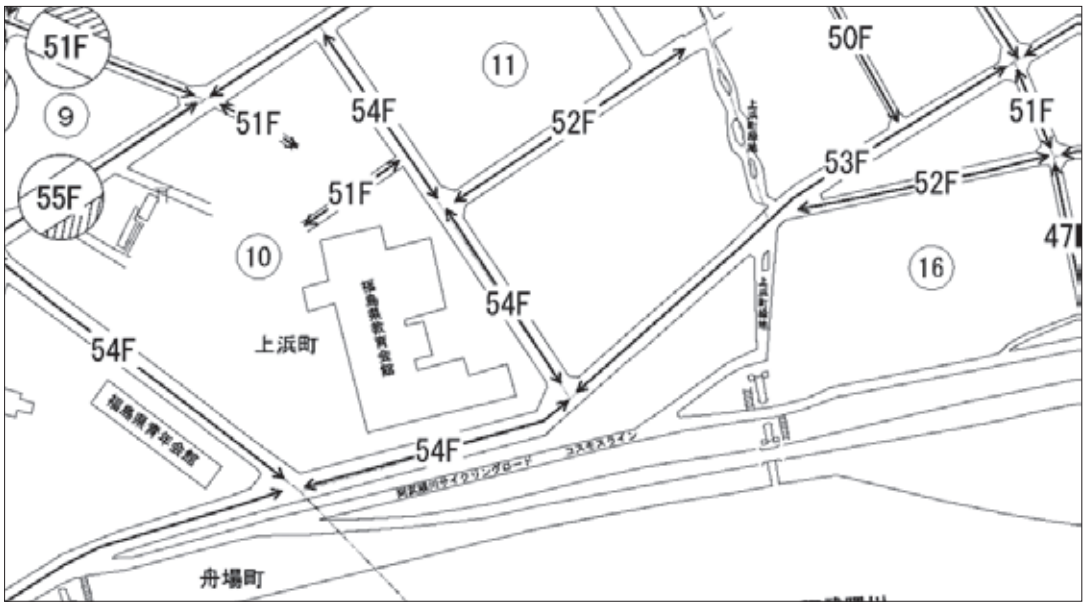
相続財産の評価（土地・建物）

前回の会報№163号で相続の基礎についてお知らせしました。主な相続財産は預貯金、土地、建物などですが、今回は土地、建物の評価を取り上げます。

自宅等の建物の評価ー市区町村から年１回送付される**固定資産税通知書に建物の評価額**が記載してありますので、ご覧ください。

下図の例では建物の評価額は**875万５千円**です。

土地ー国税庁が毎年、公表する**路線価**で評価します。ネット等で閲覧できます。ダウンロードできます。



上図は福島市の教育会館付近の2022年度の路線価図です。

54Ｆ(※)は、この道路に面する土地の価格が１㎡あたり５万４千円であることを表しています。

自宅の住所で路線価図を検索し、土地の面積をかけ、相続財産を計算できます。

※数字の後のアルファベットは**借地権割合**を表します。

お問い合わせは　㈱福島教弘　TEL 024-522-6524